

南新地地区ウェルネス拠点形成プロジェクトマネジメント業務 評価基準

評価項目		評価の基準		
過去10年の業務実績	15	※資格要件（過去10年3件以上かつ過去3年1件以上） 十分な実績を持ち、かつ、その業務内容が本業務に生かされると判断する場合は優位に評価する。		
配置予定技術者の実績	10	配置予定技術者が十分な実績を持ち、かつ、その業務内容が本業務に生かされると判断する場合及び配置予定技術者に専門的な資格（技術士等）がある場合は優位に評価する。		
業務理解度	5	本市の上位・関連計画等や課題等を把握（現状を理解）し、プロジェクトマネジメントの目的が明確にされている場合及び本業務の実施における重点項目と取組の基本的な考え方（実施方針）が明確に示されている場合は優位に評価する。		
業務工程及びスケジュール（マネジメント計画）	10	業務工程が具体的に設定され、スケジュールに妥当性がある場合及び業務履行期間内における効率的な業務遂行のための工程上のポイントや留意点が具体的に示されている場合は優位に評価する。		
業務実施体制	5	各配置予定技術者等の役割分担やバックアップ体制が具体的である場合並びに「道の駅あらお（仮称）官民連携基盤整備推進調査業務及び基本計画策定支援業務」及び「保健・福祉・子育て支援施設（仮称）基本構想策定支援業務」との連携体制が具体的である場合は優位に評価する。		
業務内容	プロジェクトマネジメントの実施	(1) 事業主体別調整	20	各事業主体間の調整など、プロジェクトマネジメントの手法が具体的であり、妥当性がある場合は優位に評価する。
		(2) プロジェクトマネジメント会議		
	導入機能の検討	(1) 先進コア街区の事業コンセプト検討	10	事業コンセプトを明確化する手法が具体的であり、妥当性がある場合は優位に評価する。
		(2) 導入機能の検討	10	導入が求められる機能の検討手法及び各事業者の役割分担の検討手法が具体的であり、妥当性がある場合は優位に評価する。
	施設整備条件の検討	(1) 施設配置条件の整理	5	施設配置条件の整理手法が具体的であり、妥当性がある場合は優位に評価する。
		(2) 施設デザイン条件の整理	5	景観デザイン上の配慮事項の整理手法が具体的であり、妥当性がある場合は優位に評価する。
	エリアマネジメントに係る調査	5	調査手法が具体的であり、妥当性がある場合は優位に評価する。	